

みなと はやし 港・お林コース

歴史ある松林を、さわやかな海風とともに歩こう!



歩いて、未病を改善! 真鶴町 No.60
神奈川県・県西地域ウォーキング

「#県西ウォーキング」でSNSに
写真や感想をアップしよう♪



アクセス

Sスタート JR東海道線「真鶴駅」

Gゴール 伊豆箱根バス♀「ケープ真鶴」
JR東海道線「真鶴駅」まで約20分

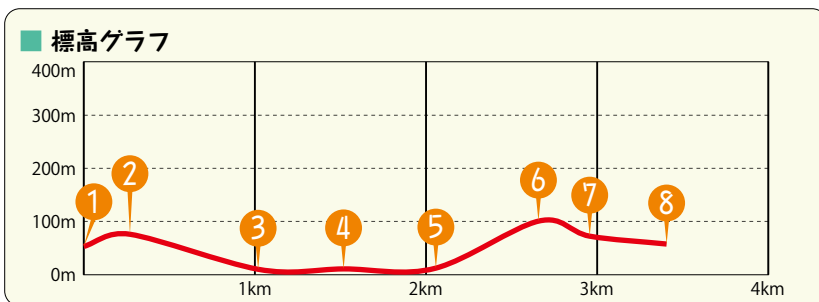
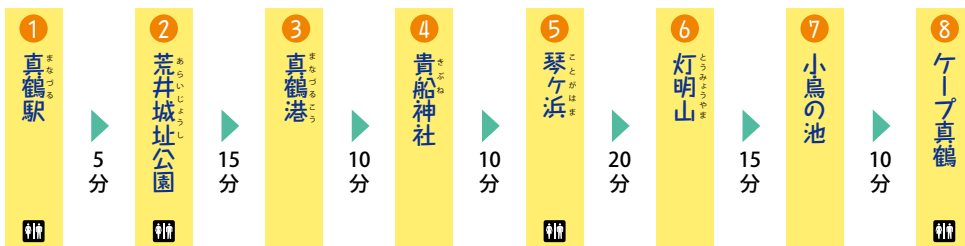
※バスの本数が少ないので事前にご確認ください。
※コース詳細は真鶴町及び真鶴町観光協会のホームページを
ご参照ください。

※真鶴町▶ ※真鶴町観光協会▶

歩行距離	歩行時間	消費カロリー
3.4km	1時間25分	314kcal
高低差	歩数	
97.7m	4,444歩	

コースの魅力

【花木】しだれ桜(3月~4月)、ガクアジサイ(6月~7月上旬) **【景観】**お林から望む真鶴岬 **【★選】**真鶴岬(森林浴の森日本100選、かながわの探鳥地50選) 真鶴半島の森(かながわの美林50選)、真鶴岬と三ツ石(かながわの景勝50選)、真鶴半島(日本の白砂青松100選)、真鶴町立中川一政美術館(公共建築百選/かながわの建築物100選/かながわの博物館50選)、真鶴の漁業伝統(貴船まつりの小早船/魚つき保安林)(未来に残したい漁業漁村の歴史文化財産百選)、貴船まつり(かながわまつり50選/かながわの民俗芸能50選)



コースの概要
真鶴駅から「ケープ真鶴」まで、「真鶴岬」を海沿いに進むコース。お林からみる岬は美しく、「かながわの美林50選」にも選ばれるほど。しだれ桜やガクアジサイなど花の見どころもあります。帰路は、「ケープ真鶴」から真鶴駅まで一気にバスで戻るもよし、2014年にオープンした「まなづる里海BASE」に寄り道して、お買い物などするのもよいでしょう。

春には「しだれ桜の宴」が!



荒井城址公園

後三年の役(1083年)に源義家に従って活躍した荒井実継の居城跡といわれ、竹林に囲まれた閑静な園内は町民や観光客の憩いの場になっています。

春にしだれ桜が咲く頃「しだれ桜の宴」が開催され、幻想的なライトアップも魅力です。

「お林」と呼ばれる森に感動

お林と魚つき保安林

徳川時代、小田原藩に割り当てられた15万本の松苗を、萱原だった真鶴岬にも植林しました。明治維新後、皇室御料林となり、戦後になってから真鶴町に払い下げられたのが「お林」です。「魚つき保安林」として真鶴の産業を支える役割も果たしています。



※歩行距離と歩行時間は、真鶴町のデータを参照。 ※高低差、標高グラフは、国土院の地図データを参照。消費カロリー、歩数は、「成人男性:身長170cm、体重68kg」をモデルに計算。(元となる標高データの精度や計算方法による誤差が含まれています)。 ※各数値は、あくまで目安であり、年齢や体格、歩くスピードなどにより大きく変わることがあります。 ※掲載情報は、令和8年2月現在のものです。



ウォーキング MAP

ジオサイトって？
箱根火山を中心とした地域の自然や歴史、文化、食などを大地とのつながりで楽しむ「箱根ジオパーク」の見どころです。

ルールとアドバイス

- 1 ゴミは必ず持ち帰りましょう
- 2 植物・鳥・動物・虫などの採取・捕獲は絶対にやめましょう
- 3 自分に合った歩きやすい靴をはきましょう
- 4 水分の補給をこまめにしましょう

真鶴半島の照葉樹林
神奈川県海岸部を代表する照葉樹林で、半島としてまとまった面積で残されていることが貴重であることから、県の天然記念物に指定されています。

三ツ石海岸
真鶴半島の先端にある景勝地。磯遊びに絶好で、岬からは伊豆半島、伊豆大島そして房総半島まで見渡す眺めが感動的です。

お林と魚つき保安林
昔から海岸近くの森林は海に映る森の陰に魚が集まるといわれ、「魚つき保安林」と呼ばれてきました。町の人々もとても大切に育んでいます。

幕末の台場(砲台)跡
江戸時代末期、小田原藩が海防のため台場を築いた跡が、礎石の碑として残っています。

8 ケープ真鶴
県立真鶴半島自然公園を訪れる方々の休憩施設で、レストランやお土産販売といった観光拠点となっています。

初日の出スポット

海まで徒歩0分! 海産・土産物等も販売

まなづる里海BASE
真鶴港の目の前に2014年にオープンした、観光やマリレジャーなど、様々なイベントの拠点です。施設内のチャレンジショップでは海産物や土産物なども販売しています。また、試食や買った海産物などをその場で焼いて食べることもできます。

【住】足柄下郡真鶴町真鶴894-1 【電】0465-46-9274
【営】9:00~16:00 【入】無料 【休】不定休

勇壮な船祭りは必見!

貴船神社
貴船神社の歴史は古く、寛平元年(889年)の創建と言われ、大国主神、事代主神、少彦名神がまつられています。毎年7月の最終土曜日及びその前日に行われる貴船まつりは勇壮華麗な船祭りとして有名で、同時に奉納される鹿島踊りとともに、国の重要無形民俗文化財に指定されています。